

《17》オオイヌノフグリ

ゴマノハグサ科

明治初期に、ヨーロッパから渡来した帰化植物です。おやしる公園の北側ダベンダー園のすぐ近くの陽だまりの地面に青い小さな花。(1cm位)

小さい春を見つけた喜びを与えてくれる花です。

イヌフグリとは、花が結実した後の果実の形に由来しています。二つ小さな袋がついており、その形が犬の陰囊にそっくりなことから名前が付けられました。花からは想像もできません。

こんなかわいい花につけられた名前……。ちよつとかわいそうな気もしますが。

春を前にして、地面いっぱいには春の気分を満喫させ

てくれます。

花言葉は「**信頼**、**神聖**、**清らか**、**忠実**」これは花のイメージにぴったりで安心します。暖かい日に、外に出て陽だまりや道端で青い花を探し、春が近いことを体感しましょう。

